棄斤

ねる。

「後継者を育てるのに、漁船

室)も備える。湾内クルーザーもか 8畳間ほどの広さのキャビン(客 く、海に落ちた人もけがしにくい。 していないため、網を傷つけにく

推移」(7月25日)。問い合わせ

次回は「船橋地先の埋立と海岸線の 市漁協では郷土学習講座を開講中。 ほど後に大野さんが導入した。船橋 も格好良くなければ」と、視察10年

は、同漁協(047・431・20

41)

◆自然観察会盛ん

た海水を後尾に噴射して進むウオー

「2001大平丸」は、吸い上げ

◆漁船も格好よく

タージェット式。スクリューが露出

01大平丸が出港した。 冲まで 定されないようにするためだ。 スコップで次々海中に投げ込ん わずか。乗り組んだ人たちが田 から巻き網船団の運搬船、20 が4年前から取り組んでいる放 船橋市沖の三番瀬で、同市漁協 う注意する。密漁者に場所が特 板に山積みのハマグリの稚貝を た。写真には陸地が写らないよ 5月のある土曜日。 船橋漁港

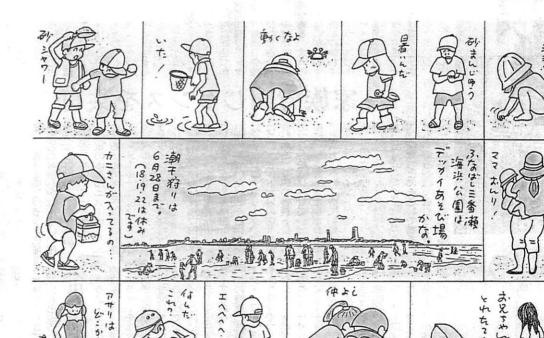
潮時は水深2~0 だと、海底も け広がる1800%の浅瀬。干 での消費は意外にも少ない。 銚子方面などに出荷され、地元 だが、ほとんどは東京・築地や る。昨年はマイワシが1742 の魚たちも三番瀬の恵みを受け 交じる。船橋漁港を彩る東京湾 マス…。タチウオやトラフグも スズキ、カレイ、エボダイ、カ 顔を見せる。アジやゴマサバ、 いと約20年ぶりの豊漁だった。 三番瀬は同市から浦安沖にか

成長期のイメージも。 「東京湾=汚染」という高度 大野一飯

三番瀬

千葉市

## 京湾の 上命維 月



るか人々が考え始めていた。 られ、湾内の生き物がどう生き れたが、その後埋め立ては禁じ ランシスコ湾を視察した。一部 る。東京湾横断道路計画を耳に れいな海になった」と振り返 悪臭もなくなり、見た目にもき が産廃や家庭ごみで埋め立てら 同漁協組合長(70)は、「いまは して81年、先輩格の米・サンフ

市川市

船橋市

東京都

0

50年先を行っていた

繰り返される干満の営み。大野 それをエサに魚が群がる。日々 数千の卵を産み、湾内を浮遊、 盛んな場所。 1個体のアサリが 光を当てた。江戸時代から漁が 追う」(草思社)で、三番瀬に 出版した。著書「東京湾で魚を ち帰り専門家に翻訳してもらい 大野さんは、再生計画書を持

生命維持装置」と話す の魚がいなくなる。いわば湾の る。三番瀬が無くなると東京湾 さんは、「酸素が直に供給され

さない。店主の根岸賢司さん 魚がそろえられず、のれんを出 揚がらない日は、予約客以外の を掲げ98年開店した。港で魚が 「三番瀬」は、「大平丸直送」 船橋駅近くの繁華街の料理店 東京」です。 ◆次回は、

身や天ぷらにする。珍しがる客 内臓を取り除く。コノシロやサ 魚を目利き、その場で一匹ずつ 漁港です」。さながら三番瀬のア クラマス、サンマ。 に産地を聞かれると、「全部船橋 (59)は、毎朝港で水揚げされる ンテナショップだ。 「らんどまあく回 ボラは刺し (吉井亨)

てユニークだ。 は7月5日。問い合わせは田久保さ の会は毎月第1日曜日に開催。次回 が日に輝き別世界に見えた。県野鳥 長靴で冲まで歩き振り返ると、海底 らアナジャコの群れが姿を見せる。 観察会も盛んだ。ハゼやボラの小魚 貝柱はアラレと呼ばれ美味」など、 ち」は、バカガイ「肉はアオヤギン 入り口の看板「海浜に暮らす仲間た の魚影が動き、泥穴に掘った巣穴か イラストに生態などが解説されてい へ。ふなばし三番瀬海浜公園干潟出 A (047·434·9824) 三番瀬では、市民団体主催の自然

どこかたの